

大分県社会保障推進協議会が自治体キャラバン 要望書の回答で市と意見交換

子育て・医療・国保・介護 生活困窮・ケア労働など45項目

22日、大分県社会保障推進協議会（会長川野桂吾氏）は、市に提出していた45項目の要望の回答にもとづく意見交換をしました。市内の3団体も参加しました

んでいる」と述べました。

大分県社会保障推進協議会（県社保協）は、県内すべての自治体と要望の回答にもとづく意見交換をして、社会保障関係の各種事業を住民本

子育て支援では、ヤングケアラーは県内では2100人いて、市には「お世話している人がいる」という児童生徒は189人と述べました。「世話をしているためにやりたいことができない・無回答という

参加者が
ら、ひきこもりの市民の居場所づくりの要望も出され、市は「居場所づくりに取組んでいく」と述べました。

位に改善することを求めています。22日の会議には大谷市議も参加しました。

の59人と述べました。免許返納後の高齢者が病院に行っても便が少なく、タクシーを使えば高いので、きめ細かな移動支援の要望が出されました。市は現在「地域のボランティアで支え合うことができる仕組み作りを取組んでいる。現在2地区で取り組



福祉保健部長から回答書を受け取る大分県社保協の代表

は、市に提出していた45項目の要望の回答にもとづく意見交換をしました。市内の3団体も参加しました



県社保協など参加者

補正予算案総額は約4億7千164万円

12月議会 補正予算案の概要

一般会計補正予算の今回の補正額は471,648千円で、R5年、R6年度の災害復旧に係る費用、新たに設置する放課後児童クラブや農地及び農業用施設の整備に係る費用の追加などを行ないます。（一部を掲載）

事業名	事業費 (単位千円)	事業概要
観光施設災害復旧事業 (R5年災)	2,992	大雨により「奥日田温泉うめひびき」北側斜面が浸食されているので対策を行なう
公共土木施設災害復旧事業 (R5年災)	225,889	道路・河川の復旧費用を増額するもの。 (道路36件、河川81件)
農地・農業用施設災害復旧事業	33,700	災害査定が進捗に伴い、補助対象工事費等を増額する (農地9件・施設6件)
林地・林業用施設災害復旧事業	23,000	災害査定が進捗に伴い、補助対象工事費等を増額する (林道2路線)
放課後児童健全育成事業	1,486	大山小学校区に新たな放課後児童クラブを開設するための環境整備費用を増額する
児童扶養手当事業	8,794	児童扶養手当の制度改正に伴い、支給額が当初の見込を上回ったことから増額をする
地域農業利水施設保全対策事業	22,800	大山川を横断している農業用の用水管が落下したため、復旧に要する経費を増額する



対応する市の各部署